

教 育 委 員 会 定 例 会

日時：平成27年2月18日（水） 午前9時30分～午前11時40分
場所：教育センター 2階 204会議室

出席者：教育委員 早藤義則、石井紘一、小松泰子、貴田太史、高橋 正

事務局及び説明者 柏木課長、青木課長、大槻副課長、長田指導主事、田代指導主事

議事録署名委員 早藤義則、貴田太史

※傍聴人希望なし

早藤委員長 みなさん、おはようございます。ただいまより、教育委員会2月の定例会を開催します。窓の外は本当に湯河原らしい、ここの窓を開けたとたんに梅の紅白梅林という感じで、素晴らしい季節になりました。まだまだ、今日は雪が降るという天気予報が出ているようで寒さがありますけれども、そんな中、皆さんのお力を借りまして今日の定例会を始めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。それでは、さっそく本日の定例会の協議に入ります。協議に入ります前に本日の議事録署名人の指名をいたします。本日の議事録署名人は、私、早藤と貴田委員、お願いいたします。

議事録の承認

(1) 平成27年1月教育委員会定例会議事録の承認について

早藤委員長 それでは、先月、1月の教育委員会定例会の議事録の承認について審議いたします。では、事務局から説明をお願いいたします。

大槻副課長 1月教育委員会定例会の議事録についてですが、何点か修正がございますので説明いたします。

※訂正箇所の説明

早藤委員長 ただいま事務局から1月の定例会の議事録につきまして、修正と皆様方に事前にメールでお配りしまして文言等の修正がございましたものが、今お手元にある形で説明がございました。これにつきましていかがでしょうか。

委員 質問、意見等なし

早藤委員長 よろしいでしょうか。

委員 全員異議なし

早藤委員長 全員の賛同が得られましたので、お手元にあります、1月の教育委員会定例会の議事録は承認されました。

案件

早藤委員長 それでは、これより案件に入ります。案件に入る前に、皆様方にお諮りしたいことがございます。秘密会の件ですけれども、(3) 議決事項③27年度当初予算について、(4) その他②児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について、議決事項②平成26年度一般会計第9号補正予算について、この3点につきまして、まだ予算審議、議会の方の関係、そして人権等に関するものになりますのでこれを秘密会としたいのですが、いかがでしょうか。

委員 全員異議なし

早藤委員長 ご了解いただけましたので、審議する順番を少し変えたいと思います。審議する順番を、(3) 議決事項①湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例について、そしてここに書いてある③教育委員の辞職について、そして(4) その他①湯河原町各種基金の状況について。それから再び(3) 議決事項に戻りまして、②平成26年度一般会計第9号補正予算について、そして③平成27年度当初予算、続いて(4)②児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について、という形で進めたいのですが、それでよろしいでしょうか。

教育長 ③平成27年度当初予算については既に上程しておりますので、これは秘密でなくてもよろしいかと思えます。

早藤委員長 今、教育長からご指摘がございまして③27年度の当初予算について、はもう議会の方で協議されているとのことですので。それについては秘密会ではないので、申し訳ありませんがもう一度、順番を含めて修正いたします。(1)報告事項、(2)協議事項の後、(3) 議決事項①湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例について、③平成27年度当初予算について、(4)その他①湯河原町各種基金の状況について審議します。その後、秘密会に入りまして(3) 議決事項②平成26年度一般会計第9号補正予算について、④教育委員の辞職について、(4)その他②児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について、という形に変更したいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 全員異議なし

早藤委員長 秘密会を3点行いますので、審議する順番を変更させていただきます。

(1) 報告事項

① 平成27年度学童保育入所児童数について

早藤委員長 それでは、みなさんのお手元の案件に従いまして順次進めたいと思います。

先ず、(1)報告事項①平成27年度学童保育入所児童数について、事務局から報告をお

願います。

青木課長 資料1になります。

(資料に基づいて、平成27年度学童保育入所児童数について報告)

- ・各校の学童保育入所申請児童数について
- ・入所説明の保護者会について

早藤委員長 ただいま、平成27年度学童保育入所児童数についての説明がございましたが、この報告について質問、ご意見等ありますでしょうか。

小松委員 指導者さんはどうなっていますでしょうか。

青木課長 希望としては10名欲しいのですが、6名の応募がございました。男性2名、女性4名ということで、これから順次面接をしていきます。男性の方については、教員資格を持たれて養護教諭をされた方が入っています。あとは、保育資格のある女性の方ですとか、もともと学童の指導員さんをやられていた方が再び戻ってきていただけるような方もいます。面接等を踏まえた上で決定等をしていきたいと思います。同じく、引き続き、特にPTAを通じて指導員さんの募集をしていきたいと考えております。

早藤委員長 よろしいでしょうか。関連するところで、4月からこの指導員の基準というのが、暫定的ではあるがいろいろと基準がついています。今のこの6名の方は基準を全てクリアーしていますか。

青木課長 そうですね。基本的には最初は補助員という扱いになるのですが、全員こんな形で一旦補助員扱いになります。委員長がおっしゃられるように、これから県の研修を踏まえて有資格者となります。既に教員資格を持たれていらっしゃる方もいますが、実際に持たれてない方については、2年間は補助員をしていただいて有資格者になっていただくという形になります。

教育長 教員資格を持っていても研修を受けないといけないのですか。

青木課長 受講する必要があります。

教育長 経過措置があって、5年間のうちに研修を受けなさいと、それを受けると有資格者になる。だから、教員資格だけではなれないのです。みなさん、スタート時点では同じなのです、今までの方も。

早藤委員長 経験数としては、今までの古い制度の経験も経験年数になるのですか。

青木課長 なります。2年以上の経験があれば、すぐにでもその研修を受ける資格があります。

教育長 研修は何時間やるのですか。

青木課長 特に決まりはないです。県からは、まだ何も示されてません。

早藤委員長 よろしいでしょうか。

委員 質問、意見等なし

② 平成27年度福浦幼稚園入園状況について

早藤委員長 それでは、続きまして報告事項②平成27年度福浦幼稚園入園状況について、報告をお願いいたします。

柏木課長 資料2をお願いいたします。

(資料に基づいて、平成27年度福浦幼稚園入園状況について報告)

- ・入園児数等について

早藤委員長 ただいま、平成27年度福浦幼稚園入園児について名簿での説明がございましたが、質問、ご意見はありませんでしょうか。

委員 質問、意見等なし

③ 子どもフォーラムについて

早藤委員長 それでは、続きまして(1)報告事項③子どもフォーラムについて、報告をお願いいたします。

長田指導主事 A3一枚の資料3をご覧ください。先日、2月1日に子どもフォーラムDAY6最終回を無事に開催することができました。皆様にもご参加いただきまして誠にありがとうございました。

(資料に基づいて、子どもフォーラムについて報告)

- ・子どもフォーラムの参加人数について
- ・子どもフォーラムDAY6のアンケート記述について

早藤委員長 ありがとうございました。教育委員の皆さんにも参加していただいたということです。地域の方々の参加、あるいは要望、そういうものも話の中にはありましたが、参加した感想も含めて皆さんの方から何かこれについてご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

小松委員 町長さんもお見えになっていたので、質問のコーナーで「子どもの医療費の助成を、なぜ湯河原では小学校就学の前までなのか」という意見が出ました。すごくしっかりしていました。5人兄弟の一番上のお子さんで、親からきつと言われたのでしょうけれども、子どもでもこういうことを考えているのだと思いました。

教育長 議会のような感じでした。その件に関しては今年度、拡充する予算を組んでいますからよかったですけれども。あと、津波の関係で、「何で中学校へ皆行かないのだ」という質問があったりして、本当に議会で質問されているような感じでした。固くなってしまったようで、もっと柔らかく対応できればよかったですかなと思いますけれども。給食の話も興味深かったですよ。給食賛成派と反対派に分かれてしまって、反対派がやじるのですよ。

小松委員 「そんなのやだよ」って。

教育長 ああいう場に出ないと、なかなか体験できないですね。

早藤委員長 ディベートっぽい感じになったのですね。

長田指導主事 おそらく教育長がおっしゃった内容、町長がおっしゃった内容は、子どもたちが予想していた内容とは違ったものだったと思います。しかし、あの場で教育長、町長という立場のある方が、しっかりと一人の個人の質問として受け止めてくれて、それに対して一人の人間として答えてくださった、というところが、おそらく子どもたちにとって、たいへん貴重な経験をしたのだらうと思います。

教育長 防災の関係があったのですね。大人が中心になって防災訓練をやっていますから、「ああいう場に子どもたちも参加していいのだよ。」と、「むしろ参加すべきだよ。」っていうことを、彼らはどのように受け取ったか分からないですけれども、言ってあげてもよかったと思います。防災に対して関心はあるのですね。

早藤委員長 ちょうどそれは、教育長が以前そういう担当部署にいたから特にその辺の状況も分かるし、町側のスタンス、そして住民のスタンスもよく理解できるので、子どもたちに話すいい機会になりますね。

教育長 区の方もいろいろやっていただいているのですが。

早藤委員長 今、長田先生のお話を聞いて非常に思ったのは、「子どもフォーラム」の始まる前は「子ども議会」というものでしたから、今までの「子ども議会」から「子どもフォーラム」に変わってよかった点というのが今言う話です。「子ども議会」は学校ですべて質問から回答まで準備して行って、それで持ってくるから議会の代表質問と同じような、もう答えができて分かっているようなものでしかなかった。それが今回の話を聞くと、子どもたちが、普段、逆に家庭でそういう話をディスカッションした中でそこに持ってきてぶっつけ本番で持ってくる。それに対する生の答えが返ってくるということが、本来の子どもが行政とか、あるいは町の在り方を知るうえで参加していくという、今の教育長の話のようにもっと自分たちも体を持って町のことに話ができる。そういう場としては、そこの部分を今聞いてすごく大きな進歩だったかなと思います。「子ども議会」からこうして「子どもフォーラム」という形で今後も発展していく、その成果として表れてきたのかなと思いますので、非常にありがたいことだと思います。

教育長 みんなに聞くと、「ものすごくよかった、また参加したい」と言うのですよ。「友達を連れてきてよ」と言ったら、友達は何ゲームをやっている「ゲームの方が楽しい」と言っている。「君はどうなのですか」と聞くと、「ゲームよりこっちの方が楽しい」と答えた。「だったらそれは伝えなさい。」と言ったのですが。本当に、大勢の方に参加していただくのが一番いいと思います。そこだけ、今後進めていければいいと思います。

早藤委員長 そうですね。アンケートの結果ですとか、あるいは意見の中で、やはり人数の問題、参加者の問題等が出ておりますが、みなさんの方から特に気が付いたこととか提案というのがあれば、この席ですから、ちょうど来年度に向けても始動しているということですので、今ここで提案できればいいかなと思います。もし何かあり

ましたらお願いいたします。

石井委員 いつも私が言っていることですが、長田先生の話の中で最終日が41人で、8人増えるから延べ何人とかがありました。いつも言っている通り、これでは何もならないじゃないかなと思います。たったこれっぽちの人数、変な話延べ78人、6回とすると一回10人ちょっとしかいない、平均すると。もっとその比較をしてくれないと、こっちにもありますけれども、何かさみしいなという気がします。そのところの比較で見るとPTAの役員というのはほとんどいませんね。「ええっ、たったこれっきり。」という感じです。保護者も最終日は10人いますけれどもその他は3人しかいない。これで大丈夫かな。このまま任しておけばいいという話ではないのではないかな。「子どもフォーラム」だからこのまま行けばいいというものもあるのでしょうかけれども、今の教育長の話ではないですけれども「ゲームをやった方がいい。」ということになる。その辺の比較をしないといけないと思う。これで4回目ですよ。来年は5年目、これだったら何人も出ないと私は思います。PTA、保護者、そういったところに仕掛けていかないと、町全体としてやっていかないといけない。子どもフォーラムはこんなものでいいやとか、それもごく一部の生徒会・児童会の子どもたちでやっているわけだし、それでは何もならない。こういういいことをやっているのだからPRしてやらないと、いいことが「なんだ、あれは。」ということになってしまいますから。

教育長 確かに、それは連携していかなければいけないと思います。

早藤委員長 他には何かありますか。

石井委員 今年、講師の山田さんの考えもあるのでしょうかけれども、6月と12月と1月ですね。それがいいかどうか分かりませんが、どうせやるなら年間を通してやるのがいいのではないかなと思うのです。都合があるから何とも言えないけれども。

早藤委員長 一つ私の方からお聞きしたいのは去年のこのフォーラムは、中学生で参加して高校生になっても参加してくれたという子が確か1名か2名いたかと思いますが、今回もそういう子が入っていたのでしょうか、その中に。その辺はどうでしょうか。顔とか、長田先生ぐらいしか分からないかと思いますが。

長田指導主事 入っています。最終日も来てくれて、今年度は途中のDAY4にも顔を出してくれました。今、高校2年生で、なかなか自分の生活が忙しいということですが、子どもフォーラムを見に来てくれ気にしてくれています。これはエピソードですが、DAY6の時に、「子どもフォーラムで学んだこと」ということで一人ひとりキーワードを書いてもらって、それに対して1分間のスピーチをしてもらうという企画に取り組み、その企画に高校2年生のお子さんも参加してくれました。その子はそこに何を記してくれたかという「伝統」という言葉を記してくれました。「4年で伝統と言えるのか。」という話になりますが、彼は子どもフォーラムの第1回生です。彼の中で4年間継続して、ずっと子どもフォーラムの営みを見てきています。だんだん質的に高

まってきたということ、参加者として実感をしてきているので、それが「伝統」という言葉で表現されているのだと思います。彼の自己有用感というか、自分たちが立ち上げたものを後輩たちがこれだけまた作ってきてくれているということを感じて、今後、少しずつ、山田さん、森住さんと手を組んでいければよいと思っています。したがって、リピーターを広げることが有効であると捉えています。

早藤委員長 そうですね。今、石井委員のおっしゃっていた町ぐるみでという部分もありますけれども、先ず、その卒業生というか経験者にDMでこのお知らせを、「いついつ、どういことを」っていうのを、過去の出席した者に届ける。多分教育委員会は情報を持っていると思うので、教育委員会からだったらそういうものができると思うのです。それが一つ、今言うようにこれからの伝統を作るという意味での意識を高めていく、若い子たちが意識を高めていくという意味でも手法としてはできるかなと思います。そうすることで、自分に直接、そういうお知らせが来てくれれば何とか都合をつけてくれるだろうし、先ほど教育長が言われた、「友達を誘って」ということにも、繋がってくるかもしれないのです。石井委員が前から言っている地域の人に知らせると同時に、そのへんの手法を考えていけたらなと思います。皆さん他に何かありますでしょうか。

委員 質問、意見等なし

④ 2015湯河原温泉オレンジマラソンの参加申込者数について

早藤委員長 ありがとうございます。それでは、続きまして(1)報告事項④2015湯河原温泉オレンジマラソンの参加申込者数について、報告をお願いいたします。

青木課長 それでは、資料4になります。

(資料に基づいて、2015湯河原温泉オレンジマラソン参加者数について報告)

- ・資料の年月日を訂正
- ・今年度の参加申込者数等について
- ・前年度との比較増減、安全対策等について
- ・忠州市からの参加者等について
- ・招待選手等について

早藤委員長 ありがとうございます。ただいま、2015湯河原温泉オレンジマラソンの参加申込者数について報告がございました。いかがでしょうか。質問、ご意見等ありますでしょうか。

小松委員 AEDの機械というのは、等間隔に設置をされていますか。

青木課長 把握してはいないのですが、教育委員会にもありますし、あとは保健センターにもあります。救護班で来ていただいているので、救護用の車両にも積んでいると思われま。確認しておきます。

小松委員 結構、走っている人たちが、だんだん時間がたつとばらけてしまい、距離が長いというか、長くなってしまふ。特に奥湯河原のあたりでは手薄になる。AEDがあれば助かるというケースもあるので。

青木課長 分かりました。確認をさせていただきます。

早藤委員長 やはり医療関係の方の貴重なご意見ですから、ぜひその辺の万が一の時も指示が手薄にならないようによろしく願いいたします。

青木課長 はい、ありがとうございます。

早藤委員長 他に何か、質問、ご意見等ありますか。

貴田委員 例年参加者が増加しているというのはすごくうれしいことなのですが、何か要因というのは考えられますか。

青木課長 最近の傾向を見ますと、ランナーブームというか走ることが結構流行っていて、スポーツシューズもすごく売れていると聞き、皆さん走ることに興味をもたれている。特に40代の方が一番増えてきていると聞いています。湯河原は正式なコースではないので、どちらかというところ「楽しんで走りましょうね。」というコース設定になっておりますので意外と入りやすいのかなという印象があります。あと、最近インターネットの普及で手軽に情報が入手できるので、それによる申し込みが増えているのかなと受け取っております。ただ、安全上等を考えると感覚的には3,300人くらいの募集で、実際ランナーは一割くらい減ってしまうということなので、ちょうど3000人くらいなのかなというのが一番いいところなのではと考えます。どうしても申し込みの締め切りの関係でずれてしまう部分があるので、来年は少し申し込みを、例えば郵便振り替えの申し込みをインターネットより一週間前に締め切らせていただく。インターネットは、こちらが「もう定員ですよ」と言った時点で締め切れてしまふので、ちょっとやり方を工夫して、なるべく理想の3,300人くらいを、ということ考えております。

貴田委員 増加しているということなので、むしろどんどん増やしていくっていうのも、これも観光事業の方に繋げていくとすごいことになるのかなと思ったのですが。

青木課長 今の貴田委員のお話のことなのですが、キャパシティが、湯河原小学校の受け皿がどうしても限られております。昨年、あの雨になってしまったという時にかなりのランナーの方が雨をしのげる場所がないといった状態になってしまいました。そうすると人数的にはそのあたりがもう限度かなと思います。もともとのスタートが2,500人くらいから始まっているので、かなり無理をしながらの3,300人なのです。注目していただいていることはありがたい事ですので、ご意見として承りたいと思います。いまだに、「申し込みできないか」という問い合わせがあるくらいですので、募集を締め切らないでおけばまだまだ来ってしまうのかという思いもありますので。

教育長 宿泊者は何人か分かっていますか。

青木課長 まだ、確定はしていませんが。

教育長 前回の数は分かりますか。

青木課長 だいたい二、三百人くらいです。

早藤委員長 貴田委員さんは委員になられてから、このオレンジマラソンが観光とジョイントされているということをたぶんよく説明を受けていないと思うのです。簡単な説明をお願いします。

青木課長 そうですね。観光の部分としましては、狙いとする、先ず一点が湯河原温泉を知っていただくということです。無料入浴券を配布するというので、この日に限ってはごめの湯に限らず、町内の旅館さんのご協力をいただいております。それによって湯河原の良さを知っていただいて、追ってご家族とかと遊びに来ていただければなという狙いがあります。それ以外にも、宿泊パックというのを駅前情報センターの方に設けておまして、それによりましては、前泊とか連泊、あと後泊という形で、走る前、走った後にお泊りいただくというようなものもあります。通常の料金よりも安く提供いただいている、というものもございます。

早藤委員長 それでは、オレンジマラソンについて他に質問ご意見等ありませんでしょうか。

石井委員 この間、新聞紙上を見ておりましたら、市民マラソンがブームになっているということで、貴田委員がおっしゃったように今後また増える可能性がある。そうすると去年の雨のこともあるので、何か仕掛けていけないといけない。来た人が雨の中でかわいそうな感じがしたのです。そのへん、お金がかかるかもしれないが何かやっていけないといけないと思います。これからは参加者は増えてくるだろうから、対応が難しくなっていくと思います。

教育長 アンケートはとってありますか。

青木課長 アンケートはあります。特に走路員の方とか、実際のランナーよりも現場に関わった人が、どこが不足しているとか、そういう部分でトイレの数を増やしたり、テントの数を増やしたりしているのです。昨年に至っては本当にもう、テントの中まで水が入ってしまう状態だったので設置していても使い切れなかったかなというちょっと残念な結果に終わったのです。そこらへんも改善点と踏まえて対応していこうと思っています。

石井委員 毎年雨に泣かされている。

青木課長 そうですね、誠に残念なのですが。でも、雨の割には参加者が多かったということでは、あとはお風呂に入れるというのが魅力で、「冷えても温まって帰れるよ」というのが魅力で来ていただいたのかなと考えております。

早藤委員長 以上でよろしいでしょうか。

委員 質問、意見なし

(2) 協議事項

① 平成27年度湯河原町教育委員会基本方針(案)について

早藤委員長 続きまして(2)協議事項に入ります。継続審議になっております①平成27年度湯河原町教育委員会基本方針(案)について、事務局からお願いいたします。

柏木課長 前回まで継続で協議いただきました①平成27年度湯河原町教育委員会基本方針(案)でございますが、先般メールでもお知らせして、最終的には前回で審議の方は終了をしたと思っておりますが、あとから一点、修正がございました。

(修正箇所と修正語句を説明)

- ・「未病を防ぐ」を「未病を治す」に修正
- ・修正の経緯について

早藤委員長 この協議につきましては、前回十分に審議いたしまして今回最終的な文言等の修正をしたものを皆さんのお手元にお示ししたわけですが、先ほどお話がありました、23ページの「未病を治す」という文言だけが最終的なものとして残りましたが、これにつきまして皆さんのご意見を伺いたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

委員 質問、意見等なし

早藤委員長 なければ、これでお認めいただけますでしょうか。

委員 全員異議なし

教育長 これは6月の総務文教・福祉常任委員会にご報告いたします。

早藤委員長 ありがとうございます。これはもちろん基本方針ですから、各小学校・中学校の方にもお示しいただけるかとは思いますが、今、教育長の方から話がありましたように総務文教・福祉常任委員会の時にも話を示していただけるということです。それでは、この①平成27年度湯河原町教育委員会基本方針(案)について、は承認されました。

(3) 議決事項

① 湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例について

早藤委員長 それではこれより(3)議決事項に入ります。議決事項、議案第36号①湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例について、事務局からお願いいたします。

柏木課長 湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例につきましては、前回お示したところでございますが、そのあと町の方で行政運営会議というものをやりまして、少し見直しを指示されました。その結果、今回、再度の検討をお願いしたいということで提案させていただいております。前回の条例につきましては、来年度入るお子さんについては7,200円、生活保護世帯が0円、町民税非課税世帯が3,000円というような内容になっております。ただし、既に入っているお子さんは7,000円のままでということですが、行政運営会議での指摘は、国の示す負担基準額という

のがございますけれども、そのへんの示しをしておくべきではないのかということ
ございました。

(資料に基づいて、湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例について説明)

- ・平成28年度以降入園児（第3条関係）について
- ・在園児及び平成27年度入園児（附則第3項関係）について
- ・変更点（条例第6条）、預かり保育に関する条文（条例第8条）について
- ・附則等について

早藤委員長 ありがとうございます。ただいま湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例制定
につきまして事務局から説明がございました。いくつかの変更点が出たわけですが
けれども、みなさんの方に質問、ご意見等ございましたらお諮りしたいのですが、いかが
でしょうか。

教育長 この一番大きなところは、法律が施行されまして4月以降についてはこういった
基準を、ということになっております。第3条に、ここが一番大きいのですけれども、
「国が定める教育標準時間認定の利用者負担額の75%を上限として規則に定める」
という規定を設けました。これについては、保育所の保育料と同様の75%を適用す
るという条文であります。これは変動いたしますので、今後率が変わってきますとそ
のつどそれに伴い変わってくるということです。そのつど規則で定める形です。参考
資料1については、「現在の状況についてこういう結果になりますよ」というもののお
示しでございます。今後は、調整の中で予め示すべきだということで、こういう形で
入れさせていただいたということでございます。今、現在上程させていただいて付託
になっております。総務文教・福祉常任委員会の付託になっておりまして、明日、審
議が行われるという状況になっています。

早藤委員長 これにつきましては、いかがでしょうか。

石井委員 今年度はいいですけれども、来年度はこの金額になりますよね。そうすると、
今年入る子でこれに合わせると、19,200円かかるということですか。

教育長 そうなります。

石井委員 これを取るのにはわかりますけれども、何か逆に、補助みたいなものがあるので
すか。

柏木課長 私立幼稚園については、今まで「就園奨励費」というのがありましたけれども、
予めこの階層区分で下げてしまいますのでそれがなくなるという形です。ただ、宮上
幼稚園は、来年度は新制度への移行はしないということなので、そのへんはそのまま
残るというような状況になります。まだ「就園奨励費」は継続するということです。

石井委員 心配する必要はないけれども、第3階層が12,000円になりますよね。あ
とで5,000円払う。すると、ここにさっきの書いてきた資料があるけれども、こ
れはやっているかどうか知りませんが、これを合わせていくと、ここにいる人
たちが相当減ってくるのではないかな、7,200円より。

教育長 上がるということですね。

石井委員 そんな方は何人いますか。分からないですか。

柏木課長 今回、新しく27年度に入園する方と、今いる年少さんの人数32人で試算しますと、まず、来年度、生活保護世帯はございません。第2階層、町民税の非課税世帯が4名、第3階層、その他の世帯としていますがそちらが28名です。こちらの5階層にあてはめますと、生活保護はありません。第2階層は4名、第3階層の12,000円の方が9名、第4階層が一番多くて16名、第5階層は3名です。あくまでも現在の入園の関係で試算した数字でございます。

教育長 これは議会でも質問があったのですが、やはり公立の幼稚園は低く抑えられていると、この法律ができて基準が出てきています。それに比べても低いですね。なおかつ、75%にしても上がってしまうという現状です。その状況を、「来年度の状況がある程度示して募集をかけなさい」ということなのですね。今年入るお子さんは、経過措置で来年もいいのですけれども、来年新たに入ろうとする人はこういう状況の中で選択していただくということです。保育所の保育料もこれより高いです。だから、そのへんのバランスもやはり同じでなくてはいけないだろうと思います。その代り、「多子世帯については軽減していこう」というような考え方なのです。募集をかける前にある程度その状況をお知らせするという事です。他の市さんなどでは一気に引き上げてしまうというような考え方もありますね。これ、100%でやろうということです。

石井委員 今この少子化の時代だから、民営の圧迫とかどうとかの話があるのだけれども、このまま行くと東台福浦幼稚園はなくなる可能性が強いですか。

教育長 いや、そのへんは何とも言えませんけれども。

石井委員 そのへんは質していかないと、教育委員会としてはむだの話になってしまう。例えば7,200円の方が19,200円になってしまう。これは、他と比べれば安いとは言えども、大幅に差がある。近い将来、民間の方がよっぽどサービスがいいという状況になってしまうのではと思います。

教育長 そういう状況になるかどうか分からないですけれども、だといってこれを基準よりも大幅に下げるといった選択肢が取れるかどうか。こういう今の法律の改正があって、ここでないとなかなかできないのではないのでしょうか。

石井委員 それはそれでいいのですが、この教育委員会として考えていかなければだめですよ。

教育長 そんな状況になれば、なる必要があるか、ただ、ニーズがある限りは続けていかなければならないし、もともとの出発点が福浦幼稚園ですよ。今かなり充実して残っている状況がありますから、それと保育所とのバランスというのも考えていく必要があるのではないのでしょうか。ただ、上限として規則で定めるようになっておりますから、そこは政策的に75%以下に、0でもいいわけなのでそれはできるのです。そ

れは今後、規則に規定していく状況なのですけれども、教育委員会としてそういうような考えを示していけば町長と調整はできると思います。現状としては難しいのではないかと思います。

石井委員 少子化は分かりきっている。増田さんの話では2040年には、湯河原はなくなる部に入っている。2040年はずっと先の話だから我々が考える話ではないのでしようけれども、そういうの見通していかないと、どんどんおかしくなっていくってしまう。

教育長 要するに、ニーズがある限りは続けていかなければなりません。

石井委員 一人しかいないのにやるっていう話も必ずあるし、10人来たのに止めちゃうっていう話もある。

教育長 だからと言って保育料を下げればいいのかという話でもないと思います。

石井委員 保育料の話ではないのです。湯河原町として子どもを育てるのにどうするのだと。施設もそうです。教育委員会として、そういうものを考えていかないといけないのではないかと。

早藤委員長 今の石井委員のお話は、幼稚園の保育料の金額によって子どもの入園の人数に上下があることが、将来的に湯河原町の町立の幼稚園の存続というものを考える一つのきっかけにもなるだろうし、その推移をしっかり見た中で検討していく必要があるということだと思います。今すぐに結論をとということではなくて、やはりその推移を詳細に検討していく、そして今後どうするかということを常に教育委員会としては協議していく部分だろうと思いますので、ここで常に目を光らせて周りの状況だけではなく町の動向等も考えてもらえたらと思います。他に、この件につきましていかがでしょうか。

柏木課長 まだ近隣の所もこの料金体系について、公立については定まってないところも多くて、そのへんもまた調整が必要な部分も出てくることも十分予想されると思います。

早藤委員長 今、課長の話がございましたけれども、湯河原町の条例でこの金額を、この範囲というものを決めて、その他は規則で定めていくというという、うまく動けるかなという方法をとるようですので、そういう形で議案として提出されていますが、いかがでしょうか。これにつきまして他に質問、ご意見等ありますでしょうか。

委員 質問、意見等なし

早藤委員長 よろしいですか。それではこの議案第36号湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例につきまして、承認いただけますでしょうか。

委員 全員賛成

早藤委員長 ありがとうございます。では、議案第36号湯河原町立福浦幼稚園保育料徴収条例については承認されました。

③ 平成27年度当初予算について

早藤委員長 それでは、一つスキップしまして、議案第38号③平成27年度当初予算について、に入ります。説明の方をお願いいたします。

柏木課長 平成27年度当初予算について概略説明させていただきます。一枚めぐりまして、「平成27年度主要事業」という資料をご覧ください。

(資料に基づいて、平成27年度当初予算について説明)

- ・一般会計予算における教育費予算の概要、前年との比較等について
- ・新規事業等について
- ・図書館、美術館関係の事業について

青木課長

- ・社会教育関係の事業について

早藤委員長 ありがとうございます。ただいま平成27年度当初予算について、説明がございましたが、これにつきましてみなさんの方から質問、ご意見等ありますでしょうか。

小松委員 先ほどの、パソコンが新しくなるということで大変ありがたいと思うのですが、昨年度の一クラス分の必要数というのは。

柏木課長 今までパソコン室がありましたけれども、そこで使うような形で考えております。教室へ持って行ってというのは、繋がる所と繋がらない所とがあると思いますので。

小松委員 先生は、タブレットを使って授業をするというスキルはあるのですか、今現在の教員の方々は。

柏木課長 どコマであるかは確認できませんけれども、各担当の先生に集まってもらってこのように決めさせていただいておりますので。

小松委員 せっかくだいい物が入るので、十分有効に使えるように、先生方のスキルアップするような研修なり、視察なりをしていただけるような手立てをとっていただければいいなと思います。

柏木課長 個人差はあると思います。

教育長 この要望をする前に、小・中学校の先生方に集まっていただいて、どういうものがいいのかということも十分話し合いしていただいた結果なのです。これには、550万円と書いてありますが、5年リースなのです。これは半年分ぐらいですので、総体ですと4,500万円ぐらいになります。ちょっと大きな金額になります。学校の屋内体育館が8,200万円ですけれども、これも一括で契約しますと議決となります。夏休みに予定しているのですが、国庫補助をいただいてやるものなので内示が下りないとできない。そこが教育委員会としても課題なのです。夏休みに間に合わせるができるかどうか、国の予算の審議状況にもよるかと思います。

早藤委員長 いかがでしょうか。今の説明でよろしいでしょうか。

石井委員 一つよろしいですか。下から二番目の小中学校図書館配置事業、これ非常勤職員が一人ですか。学校の教員との意思の疎通はどのようにやっているのですか。

柏木課長 昨年12月から始めまして、中学校が2日、あと小学校3校が1日ずつということで、だいたい4時間ぐらいやっていただいております。先生方とも密に連絡を取り合っていていただき、既にいろんな提案もしていただいたということで、学校の方もかなり喜んでいらっしゃるような状況でございます。今後もまた書籍の購入ですとか、諸々のアドバイスをいただくということで予定はしております。学校の方の評価は好評でございます。

小松委員 今年初めて、今年度から湯河原中学校の図書ボランティアに参加したのですが、元々先生だった方が中心になって図書ボランティアをやったださっているのですが、あまり中学校では歓迎されていないような感じです。湯河原小学校では確か図書ボランティアの予算がPTA会費から出ていました。それが各ボランティアに下りてきたのですが、先日、伺ったら湯中の図書ボランティアには予算が全くついていないということなのです。来年度、その責任者をやりなさいということで、それをやることになってしまったのです。今までその方たちが印刷から何まで身銭を切ったださっていただいていたのですよ。年齢層も高いので、連絡とか、家まで手紙を届けたりするとか、そういう形式でやったださってすごく苦勞をしたという内容なので、そこに予算をつけるにはどうしたらいいのかと思ひまして。

教育長 PTAの予算となると、別になります。

小松委員 ボランティアの予算というのは、学校自体に下りているのですか。

教育長 支援ボランティアに対して一般事務は、そういった必要経費は当然計上すべきだと思いますよ。そういう要求があるのですか。

柏木課長 いいえ、ございませんが。

早藤委員長 学校ボランティアに関する教育委員会側からの支援というのは、支援のためのコーディネーターの管理を教育委員会がしているけれども、あとは各学校任せになっている部分もあるし、今言う湯河原小学校の場合にはPTAからの助成金がある、各学校ごとでそういうものは違うのかなと思います。

小松委員 湯河原中学校は、別のボランティアで掃除に行ったりだとか、花を植えるに行ったりするとお茶が出るのですよ。図書ボランティアには何も出ません。

教育長 それはどこから出るのですかね。

小松委員 たぶんPTAの予算がとってあるのではないかなと思います。今日、運営委員会があるのでそこでも聞いてみたいと思います。

教育長 それは本来PTAが出すものなのか、学校で出すべきものなのかを考えていかなければということもあるかと思ひますけれども、また情報をいただければ。

早藤委員長 せっかくこういう話題が出ましたので、各学校の様子をきちっと調べて、それで教育委員会がどのように携わっていくべきものなのかということを精査していた

だく、そういう形でもよろしいですかね。

教育長 図書については、法律も改正されて、進めていこうという機運もありますし、それは学校も承知されていると思うのですよ。東台以外の学校には、先生の司書教諭が置かれているのですよ。ですから、そこと、あくまでも町の非常勤職員ですから、そこはうまくやってもらいたいと思います。やはり学校の先生が主で、この方がサポートする、またはボランティアの方がサポートするといった態勢が本来の形ではないかなと思っております。教員の方もある程度責任をもっていただく必要があるのかなと思っております。

早藤委員長 やはり所管として教育委員会が、こういう非常勤の人たちの仕事ぶりなり内容なりをしっかりと把握して、うまく対応していただくということをお願いいたします。他にはいかがでしょうか。先ほどのコンピューターのタブレットの件ですけれども、ちょうど湯河原の小・中学校にコンピューターが入ったその当時も、今と同じような形で、だれが指導をするのかということで教員の方々の中で特にそれに秀でた人が指導していくという形を、各学校ごとにやっていただいたかと思います。もっと前の時には、県の方からそういう人を地域ごとに派遣して、その人が各学校を回ってということもあったというふうに聞いています。こういう時代ですので、そのへんは各学校で対応できればいいですし、もしできなかった場合には相談に乗ってやっていただけたらと思います。

教育長 難しいですね。

早藤委員長 業者がいるから、やり様によってはいいものを引っ張ってくれるということもあるかもしれません。当初はそんな方法をとっていたみたいですね。他には、ありますでしょうか。

委員 質問、意見等なし

早藤委員長 特に質問、ご意見等ないようですので、第38号議案③平成27年度当初予算について、承認いただけますでしょうか。

委員 全員賛成

早藤委員長 ありがとうございます。

教育長 3月3日が最終日で、まだこれは審議中になります。

早藤委員長 教育委員会としては、これは決議されました。

(4) その他

① 湯河原町各種基金の状況について

早藤委員長 続きまして、(4) その他に入ります。①湯河原町各種基金の状況について、お願いいたします。

柏木課長 資料5になります。

(資料に基づいて、湯河原町各種基金の状況について説明)

- ・一般財源で予算を構築しているもの等について
- ・教育委員会に係る育英奨学基金等について

教育長 前々回の時に、寄付があった関係なのですが、町づくり寄付、基金というのは、最近町の経由が多くなっています。というのは、寄付をされた方にもメリットがあるということで、そちらの方に移行されることが最近多いということです。奨学金に関しては定額基金ですので、これで運用、利息を充当しているということですが、やはり金利が低くなっているのになかなか一般財源からの持ち出しがないとやっていけないのです。

早藤委員長 ただいま、このような表を示していただき説明を受けましたが、これにつきまして質問、ご意見等ありますでしょうか。

委員 質問、意見等なし

早藤委員長 特にないようですので、審議の方に入ります。

※秘密会

(3) 議決事項

②平成26年度一般会計第9号補正予算について

早藤委員長 それでは、秘密会といたしまして(3)議決事項、そして(4)その他の項目に入ります。では、これより秘密会に入ります。議案第37号②平成26年度一般会計第9号補正予算について、事務局から説明をお願いいたします。

青木課長 議案第37号②平成26年度一般会計第9号補正予算について、説明させていただきます。

(資料に基づいて、平成26年度一般会計第9号補正予算について説明)

④教育委員の辞職について

早藤委員長 続きまして議案第39号④教育委員の辞職について、事務局からお願いいたします。

柏木課長 議案第39号です。

(資料に基づいて、教育委員の辞職について説明)

(4) その他

②児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について

早藤委員長 それでは、次に入ります。続きまして(4)その他②児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について、お願いいたします。

柏木課長

(資料に基づいて、児童・生徒の事故報告及び生徒指導等について説明)

※秘密会終了

② その他

早藤委員長 特にないようですので、その次に移ります。それでは、(4) その他の③その他でお願いいたします。

教育長

- ・最大津波高と到達時間に関する情報についての紹介
- ・議会関係（教育施設の在り方の特別委員会等）の報告
- ・県立養護学校に対する県の考え方についての報告
- ・町内で発生した傷害事件に伴う対応についての報告

早藤委員長 皆様の方からまだありますでしょうか。

委員 報告、連絡等なし

5 次回開催日程

早藤委員長 それでは次回の日程の方に入りたいと思います。3月は26日（木）が決定していますけれども、4月は16日（木）の午前ではいかがでしょうか。

委員 全員異議なし

早藤委員長 では、4月16日（木）9時30分をお願いいたします。

《次回開催日程》

3月定例会 3月26日（木）午前9時30分～ 場所 教育センター
4月定例会 4月16日（木）午前9時30分～ 場所 教育センター

早藤委員長 それでは、長い間ありがとうございました。以上をもちまして2月の教育委員会定例会を終了させていただきます。どうも、お疲れさまでした。

終了 午前11時40分